



糸分
繪入

舟橋七四考

東京大学図書

東京大学図書

1667
64



横谷富

全佐



今横古四考卷之六目錄

一

給馬あしよま去り領城りょうじょう

二

新鶴石しんかくし

饗庭文庫



新町考しんまちこう野原の彌や父ちち親ちかふり持も男おとこを

引ひとけらるのあらわいしを
忠ちゅうとく考こうのいふふあり

九七卷

三 名いしと父い長奴

源平の争つた地の伝を
川越の脈の流す母を

四 養老酒徳の門

二人して名を小松夜を
首の奴業力の流す

一 侍馬よと一傾城

は寒やうとての麦がようらやと。やふらつた人の四月の
幸いとも。若らからりとも。今と忘れぬ
身と。つれづれからうた世と。あふさふさう。うら
うの死ぬ身と。あや。又目くらめを。あうけを
齒と。みがつてから。あふさふさう。あうりつて。け
あ人の。あふさふさう。あうりつて。あうりつて。あうり
つ。あうりつて。あうりつて。あうりつて。あうりつて。あうり
あうりつて。あうりつて。あうりつて。あうりつて。あうりつて。あうり
あうりつて。あうりつて。あうりつて。あうりつて。あうりつて。あうり
あうりつて。あうりつて。あうりつて。あうりつて。あうりつて。あうり
あうりつて。あうりつて。あうりつて。あうりつて。あうりつて。あうり

おつゝいひしやうなまはしむいふ事。心故にわらううごころ
 丸よ桐(きり)ぎんまはしむらちのりとしこしとせむ。と市
 ちのいひぐさ。なのく神(かみ)ののりり。たれくあぢらハ加十
 として。君(きみ)もが母(はは)のうへ入(い)じとたり。いぢん新(あらた)町(まち)大(おほ)座(ざ)
 忠(ただ)らうしつちまじちぢ一(ひと)のらちあつごうつう。白(しろ)女(を)うを
 一(ひと)とらひやりちし。いぢんまはしむらちのりとしこしとせむ。
 むらり。いぢんまはしむらちのりとしこしとせむ。いぢんまはしむ
 ぶよよいぬげもあづも。新(あらた)町のらちあつごうつう。いぢんまはしむ
 こものあつ。たれらしむらちのりとしこしとせむ。いぢんまはしむ
 ぢう一(ひと)とらひ。いぢんまはしむらちのりとしこしとせむ。いぢんまはしむ
 のりつてあつ。いぢんまはしむらちのりとしこしとせむ。いぢんまはしむ

ぢ。かすのれよすまむのあごのあはすうつて。とらういよ
 とあつすらうとあつらう。いぢんまはしむらちのりとしこしとせむ。
 のりつてあつ。いぢんまはしむらちのりとしこしとせむ。いぢんまはしむ
 りいし。のりり。いぢんまはしむらちのりとしこしとせむ。いぢんまはしむ
 う。いぢんまはしむらちのりとしこしとせむ。いぢんまはしむ
 かして。いぢんまはしむらちのりとしこしとせむ。いぢんまはしむ
 ぼく。いぢんまはしむらちのりとしこしとせむ。いぢんまはしむ
 ちうい。横(よこ)座(ざ)のいぢんまはしむらちのりとしこしとせむ。いぢんまはしむ
 ける。いぢんまはしむらちのりとしこしとせむ。いぢんまはしむ
 い。いぢんまはしむらちのりとしこしとせむ。いぢんまはしむ
 とのりつてあつ。いぢんまはしむらちのりとしこしとせむ。いぢんまはしむ



合三十四卷六

五

ちかかあーさち方あーん。我これとほくしそかやどのの
 くらときよめいせいと。ふんぢりまらまここのはSASにを
 ちらん。なななななななな。女帝のすごこころこめつ
 うふてんませぬと。ななな。百歩のまてほくぬけだ。一なも
 ちふいたななな。おころいさかてぬける。中よ一人のま
 そのものつらとて。女帝よまららつぎをであらま
 かんともわきまぬらかりくらとて。まら。まんとか
 ゆきまこいまま。やがけいさひらるるんとつらまらとて。の
 しくも。かんとて。あまらつとつらけ。まことふあせ
 の月はそのつてやりまら。女帝はかんとて。ぬよう。女帝を
 つらぬのふれ。秘人ら。れ。親の面でのまらとて。あひらつと

二 新 鶴 石

かるあくれかり
 るの常が。強後がときんぶり。音ごり。神公
 感通のわよわて。聖人もさむけらる事あり。
 せうと一はつふとまら。思ねよなれらちとせ
 山とん。舟波のあまら。れりて。氏の手つて。よ
 しままのまらとて。中あま。海流のあまの。あまの。あまの。
 けいけい。村に。山。あまの。あまの。あまの。
 此二まら。あまの。あまの。あまの。あまの。あまの。
 わら。きこ。あまの。あまの。あまの。あまの。あまの。

まづこのの。ゆせとらけゆり一人。筆は雲水。ゆを
 えで。さうく一あ中よすぐれとまじ。びそまびの河村もあ
 びうくはとめ。海玉はうてたは山より。其時代ごうれる
 とまごめゆ。まうとかてらたあ似る人。墨雲水い
 さいお圓一きさうとゆりよ。さうくまをく。新ぬえると名
 づけ。ひくま山のありとたろ。柳下海一まのなまはとれ
 ける。あま格出考とあてつ。なぬ儒者アける。そ一書
 高きなり。まう一合こりかてゆくとゆて。まよたろ身と
 中し。まひひよんてぬ伸乃る。すす。神のたまごれか
 らぬよそとくとり。機はおうせてる。こぶととよみ。人の
 つれそのまがたれゆあ。又まうう。二教督都とあづ

あ。八。宜初建平のさういれそと。人よゆらうころ乃る
 かり。其お燕とゆてみぐくお。ちうのつきさうときさう
 と。案のそふ乃わやうれなと。又漢南のゆる女とあり
 て人とあびやうして。あとちうはとまぐさ。アまうがたり
 ちうと。あぐくまうとあさいとあつ。時。黒たのそれつ魚
 かんアされぐんあり。その。あまは人いあつ。人ようつま
 ごとひあ。あうまひりかん。あて。さあぐああ
 事とよれらん。紙と。あかり。いでゆとるのあで。あま
 とアてきさうアうん。まのうれとる。り。とよりかん。あま
 をうり。まごのそとまゆりゆる。こつ。川のそれのが
 つくわく。まうま。そあやうてま。とよすれま。あう

三 名はいんぐ父と長叔

山老らの世うゝの里よ秋山とつる人のひしハ海後の
ふく山よつらゝ身ありし世とやうあゝいそのよまひり
不幸よそむすすのたりとふはうゝをかみゆがさうゝと
よけぬとせむ。竹のそらるるやがのきかよふ男と宮ふえ
とせむ。うた世とのそけむひぐゝふけゝ。ゆゑそあつて人
善悪のつらとまゝにけして。性よ張りわし。よくげんじ
らふまゝのこにち本懐のたのわくれもあつてふふくこの
うづもやいとちてやりそいと。年かゝも鼻くもそらん
とららまてうづこやそゝいとうきこぶハのらにゆゝ

すゝ事ぞや。世のものうあぬ事と。人倫のとはとわゝび
かの人をせう雲ハ。ぬとりよかさんとせい世ぐゝうゝと
けしきかゝるゝとくハ。世とてうよあひと。こあれかざりて
こびはくす。かたりんれをば身やどひりかものちわゝびあ
のこむむやうづらつらあ。これあつて移んづらつらあ
あゝ先世よりりはてふ。だうどかたれを。びひかくあや
どやすむりなわがらうい上がんよ。やうのまんごいよ。たて
らくまゝいとちうゝかあれむ。ぢごゝよとらゝとらゝと
あゆりまてつたてあゝとわゝよとかりんて。まねのこゝと
と二ふともあせび。まぐれよらぐれそよ。のわが。ゆが
まふがすぢらうふがかりてまゝいあり。あんなとれとてんて日

うげよちがむとすうかすおどろくべ。病もわん物くむくや
 らつめさくつ。つねがせいのさよとどれ。ゆらとつらまのてねひ
 とりの若うとをりす。わつとつげ目まれた。むらも牧場
 飯くく。わつとをりはわられた。お一ねとあつけど。ぬすみ
 せぬく。人よゆ。人もうとまじ。膝つと二まのまじ。膝を親
 とりづともり。びびんとむつ。つのおまをいららとわけて。
 難考くよぬ者よ。い。さうれまのとも。い。ぬ考とぬめ。い。
 よ。い。り。ぬ考と。多。も。い。き。ま。い。い。家。り。月。う。ら。ひ
 くい。あ。つ。て。ま。う。け。と。む。つ。れ。と。ま。あ。し。年。も。か。ど。く。ぬ
 ま。う。け。と。む。三。十。や。早。や。う。ま。い。べ。か。ら。人。す。お。乃。世
 ころ。ま。い。も。わ。つ。び。わ。つ。夜。は。ど。が。む。と。そ。と。ら。て。入。ま。て。ろ

男三十むくりとて。大おとさ。ま。ん。ね。ぐ。と。ぬ。く。と。秋。山。は。ら
 ず。く。い。その。む。む。あ。つ。て。む。す。す。ら。お。そ。う。の。ひ。ま。つ。ら。ぬ。後
 や。う。く。の。表。列。川。と。よ。あ。ひ。て。能。回。こ。れ。ら。せ。が。れ。と。保。く。り
 者。又。こ。れ。ら。う。人。れ。の。ら。お。病。死。て。母。ひ。う。の。う。い。わ。う。よ
 て。せい。ぢ。ん。と。う。その。あ。ん。と。つ。ま。い。と。い。ま。い。ま。う。わ。い。ど。く
 せ。い。の。く。せ。と。か。せ。ぐ。ら。ひ。う。う。人。よ。さ。せ。た。れ。て。ま。い
 っ。み。う。れ。せ。さ。さ。う。と。い。は。い。せ。い。と。あ。く。な。り。ま。い。ま。い。乃
 っ。ぎ。う。ま。り。わ。り。わ。ね。ど。金。瓶。よ。う。づ。く。ん。が。ん。が。く。あ。さ。ち
 ぢ。の。く。と。り。て。つ。い。よ。せ。さ。さ。う。と。さ。う。ら。ぐ。て。わ。く。そ。く。た
 福。よ。う。さ。う。と。さ。う。れ。老。母。よ。ま。げ。き。と。の。こ。す。ま。す。
 ふ。こ。う。れ。ま。い。ど。の。つ。の。く。ま。は。天。よ。解。つ。人。地。よ。わ。の

せとどころなり。おのれはあつた。わが下は下也。老
 母が勇あつるすまて。御いあつた。下されまじ。ふふ
 きあふけ。そふき。あつた。あつた。あつた。あつた。あつた。
 秋山がまふよとて。あつた。あつた。あつた。あつた。あつた。
 とあつた。あつた。あつた。あつた。あつた。あつた。あつた。
 のひのつらふ。あつた。あつた。あつた。あつた。あつた。
 うふ。あつた。あつた。あつた。あつた。あつた。あつた。
 しくおれ。あつた。あつた。あつた。あつた。あつた。あつた。
 こみ。あつた。あつた。あつた。あつた。あつた。あつた。
 きつ。あつた。あつた。あつた。あつた。あつた。あつた。
 つ。あつた。あつた。あつた。あつた。あつた。あつた。



のときさうめりて八月十二日松若とてくわびまゝあ
一二月ぐせ八月川さようそて丸田ははが母とそつひの
六十七りの母ははがさうどのたびさうあ。目かとなれ
くびあそく身のゆゑさうがさあさうわづら松山が
そのごりときいてすくさうさうさうがさあさう
さうがさうさうさうさうさうさうさうさうさう
ひかいたさうさうさうさうさうさうさうさうさう
りよ縁くしてはははひさなく。義もあはる勇あそ
あはねお花女のあふ。命とすく丸田のあとけさすのさう。老
う母さうさうさうさうさうさうさうさうさうさう
ぐさうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさう

つあさうさうさうさうさうさうさうさうさうさう
くあれぬはあのおんさうさうさうさうさうさうさう
一けさうさうさうさうさうさうさうさうさうさう
られて。我とさうさうさうさうさうさうさうさう
我もさうさうさうさうさうさうさうさうさうさう
さうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさう
やりてさうさうさうさうさうさうさうさうさうさう
其さうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさう
さうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさう
さうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさう
わさうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさう

八十一日

ゆくもをきぬ後よりいふごとくもいふなり。その事。
 ありともいふべし。この世あり。いふなり。いふなり。いふなり。
 なる。その事。いふなり。いふなり。いふなり。いふなり。
 子の子や。いふなり。いふなり。いふなり。いふなり。
 一。いふなり。いふなり。いふなり。いふなり。
 すぐ。いふなり。いふなり。いふなり。いふなり。
 母の。いふなり。いふなり。いふなり。いふなり。
 んて。いふなり。いふなり。いふなり。いふなり。

より。いふなり。いふなり。いふなり。いふなり。
 との。いふなり。いふなり。いふなり。いふなり。
 わ。いふなり。いふなり。いふなり。いふなり。
 ぬ。いふなり。いふなり。いふなり。いふなり。
 う。いふなり。いふなり。いふなり。いふなり。
 ち。いふなり。いふなり。いふなり。いふなり。
 ら。いふなり。いふなり。いふなり。いふなり。
 か。いふなり。いふなり。いふなり。いふなり。
 す。いふなり。いふなり。いふなり。いふなり。
 け。いふなり。いふなり。いふなり。いふなり。
 け。いふなり。いふなり。いふなり。いふなり。

人のちんごもけいふなび。うらちらわうの神の月のことら
 う。れきまらじやうれせんきんとたて久しくわいせうりな
 し。兼うきわいた。あつたもあつた。ふんがりもあつた。あつた
 志すひ。母人のあつたあつた。あつたあつた。あつたあつた。あつた
 あつたあつたあつたあつたあつたあつたあつたあつたあつたあつた
 きんちんちんあつたあつたあつたあつたあつたあつたあつたあつたあつた
 せげさつたあつたあつたあつたあつたあつたあつたあつたあつたあつた
 うらちらわうの神の月のことら。あつたあつたあつたあつたあつたあつた
 わくのうて母のあつたあつたあつたあつたあつたあつたあつたあつたあつた
 いんちんちんあつたあつたあつたあつたあつたあつたあつたあつたあつた
 あつたあつたあつたあつたあつたあつたあつたあつたあつたあつたあつた



みるめいにて。あつちのうらやまをみだ。同かて。ませう
 とす。いづれも。いづれも。いづれも。いづれも。いづれも。いづれも。
 ぐみと。いづれも。いづれも。いづれも。いづれも。いづれも。いづれも。
 のま。いづれも。いづれも。いづれも。いづれも。いづれも。いづれも。
 果。七八人。いづれも。いづれも。いづれも。いづれも。いづれも。いづれも。
 ち。いづれも。いづれも。いづれも。いづれも。いづれも。いづれも。
 の。いづれも。いづれも。いづれも。いづれも。いづれも。いづれも。
 あ。いづれも。いづれも。いづれも。いづれも。いづれも。いづれも。
 ぬ。いづれも。いづれも。いづれも。いづれも。いづれも。いづれも。
 あ。いづれも。いづれも。いづれも。いづれも。いづれも。いづれも。
 と。いづれも。いづれも。いづれも。いづれも。いづれも。いづれも。

ぞ。いづれも。いづれも。いづれも。いづれも。いづれも。いづれも。
 う。いづれも。いづれも。いづれも。いづれも。いづれも。いづれも。
 い。いづれも。いづれも。いづれも。いづれも。いづれも。いづれも。
 う。いづれも。いづれも。いづれも。いづれも。いづれも。いづれも。
 じ。いづれも。いづれも。いづれも。いづれも。いづれも。いづれも。
 ち。いづれも。いづれも。いづれも。いづれも。いづれも。いづれも。
 あ。いづれも。いづれも。いづれも。いづれも。いづれも。いづれも。
 て。いづれも。いづれも。いづれも。いづれも。いづれも。いづれも。
 く。いづれも。いづれも。いづれも。いづれも。いづれも。いづれも。
 の。いづれも。いづれも。いづれも。いづれも。いづれも。いづれも。



上と犯大飛人たゆりある事かひり。是にゆりて者ゆり
 出りしびまのあはれと。理のあきまけきとまきまきと。ごま
 出白剛とゆりまらちの毛忽と得てて吾とすむ
 上の下トにうりて。そのづうなうつひからまともたま
 つひとまらるゝ悪人の入けるとも。にゆるへん載かはりし
 黄金金やう。らう母とあいらふやう。あうぬいよしひり
 く。あかじだふとつづ。びんがう赤とかい。あててひまるとま
 と。まきまきまきまきまきまきまきまきまきまきまきまき
 まきまきまきまきまきまきまきまきまきまきまきまき
 船治の元祖。口人やうとせり人れらちのまふはらふ。あて
 の。大こころくろのせれまらん。がうひらひら板りく。あ

万葉万々義つまぬまが代をめでそり

江戸通石町拾軒店 野田大、名東板

京馬丸 西にへる 万在法印共東板

京寺町通二条下北町 書林善名東板

寶永六己丑年

六月吉日

明治十五年
百七十九年

兄弟善惡車

全部六冊
近日出来

今様七四孝卷之六終



